

山形市消防本部 × 山本学園高等学校

近年、山形市消防本部に本校の卒業生が数名採用されており
ます。市民の命と安全を守る消防士に卒業生が就いていること
は当会として大変誇らしいと思うと同時に、消防士という職業
にこれまで以上親しみを覚えたところです。

今回、山形市消防本部に籍を置く同窓生6名が集まり、高校
時代の思い出を語っていただきました。その座談会の内容の一部
をお伝えします。(聞き手：井上敬弘副会長)



新しい時代に 新しい風を

ここ数年の間、母校の卒業生が山形市
消防本部に採用されたことを耳にしてい
ました。しかし、卒業生達とは同じ部署
に配属されることもなく接点が無いため
それ以外の情報は無く、後輩などから話
を聞くなどして調べてみると、令和二年
度までに六名の同窓生が在職しているこ
とがわかりました。今回、初めて卒業生
が集結し語り合う機会を設け、高校時代
の思い出などを聞いてみました。

まず、在籍している卒業生の消防士は、
平成初期卒業の三名と後期卒業の三名と
で世代がきれいに分かれています。その
ため、高校生活の思い出話ともなると、
昔と変わらない話で盛り上がる場面もあ
れば、世代の違いで話がかみ合わず、同
世代同士で何の話かわからなそうな表情
を交わす場面も多くなりました。

「山本学園高等学校の印象」について
尋ねると、多くが「円
型校舎」と上げる
中、特進コース卒業
の山崎消防士は、「昇
降口のすぐ上の二階
部分が特進コースの
教室だったこと、そ
して他の科と行事や
授業が別で円型校舎
で学ぶクラスとは交
流が少なく、円型校
舎に足を運ぶ機会が
あまり無かったため
それほど強い印象は
無い」とのことです
。これは特進コー
スや衣創科で学んだ
平成世代は同様の印

象を持っているのかもしれませんが。
また、平成後期卒業の消防士のうち、
大島消防士は、「円型校舎で学んだのは
一年間、その後は取り壊しとなり三年次
には新校舎になった」二つの校舎で学ん
だ世代、同じく渡邊消防士は、「一年次
に取り壊され、二年次から新校舎になっ
た」円型校舎に学ブイメージがほとんど
ない世代で、話を聞いて改めて世代の違
いを感じさせられたところです。

そして、制服や体育着、学校に登校す
る際のカバン（バッグ）などの変更、放
課後や部活後の腹ごしらえでお世話にな
った周囲のお店についても平成前期と後
期とでは大きく違い、時代の流れとい
うものを感じました。

一方で、外で行う体育授業ではバスに
揺られて河川敷まで移動したこと、生徒
の男女比、名物先生（名前は控えます）
の話など、今も昔と変わらず共感でき
る話題も多く、大いに盛り上がりました。
特に先生の話などは異動のない私学な
らではであり、伝統行事等と同じように
同窓の世代間を繋ぐ大きな架け橋である
と再認識しました。

最後に、令和三年度で母校創立百周年
を迎えること、この大きな節目に校名と
制服が変更になることを話題に出すと、
「聞き慣れた校名が変わるのはさみしい
感じがするが、他の高校も校名を変更し
ている学校がある。新しい校名となるこ
とで、これまで築き上げてきた歴史と伝
統ある校風に、新たな風を取り入れ、山
本学園の「風よ、未来へ」の合言葉にふ
さわしい次の時代を築いてもらいたい」
と、うまくまとまったところで座談会
はお開きとなりました。



(左から)
渡邊翔平さん、中村太郎さん、井上敬弘さん、山崎勇太さん、伊藤良徳さん、大島千聖さん

■参加者紹介（氏名、卒業年・科、採用年）

- 山崎 勇太氏 やまざき ゆうた 平成5年普通科特進コース卒
平成8年採用
- 伊藤 良徳氏 いとう よしのり 平成7年商業科情報処理コース卒
平成8年採用
- 中村 太郎氏 なかむら たろう 平成26年普通科普通コース卒
平成29年採用
- 大島 千聖氏 おしま ちさと 平成28年普通科普通コース卒
平成30年採用
- 渡邊 翔平氏 わたなべ しょうへい 平成29年普通科普通コース卒
平成29年採用
- 井上 敬弘氏 いのうえ たかひろ 平成6年商業科情報処理コース卒
平成6年採用（聞き手）